

坊守日記 Vol.3 2013年11月23日

秋深まり、境内の景色も緑から赤や黄色、茶色といった暖色系にすっかり変わりました。ようやく天気も晴れの日が続くようになって、今週は一番穏やかで快晴な一週間となったのではないのでしょうか。これから師走に向けて、紅葉はますます紅みを増し、落ち葉も大量に降り積もります。自然も越冬に向けて着々と準備を進めているのですね。

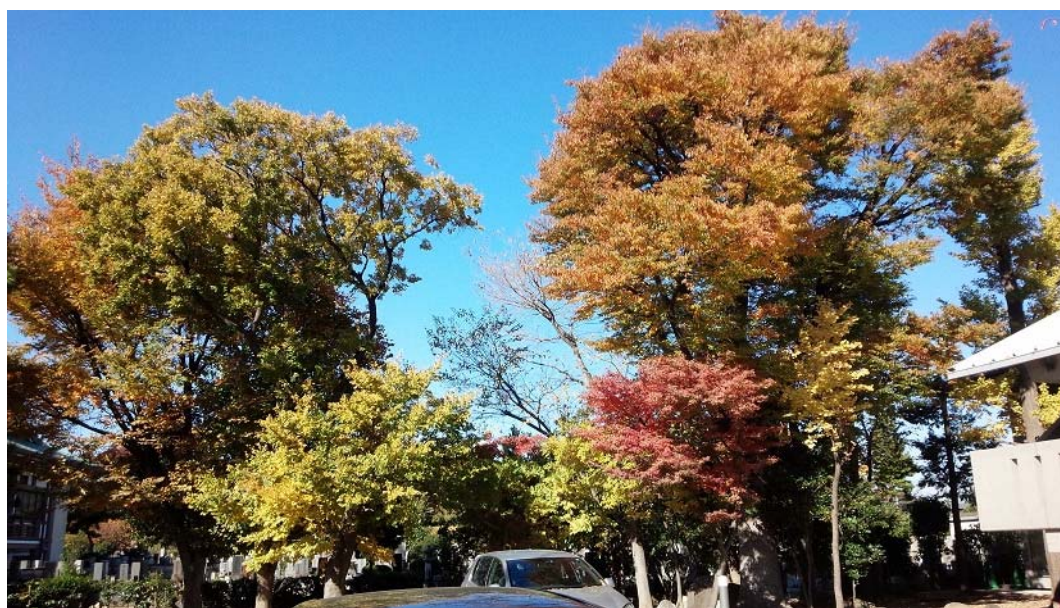
今日は勤労感謝の日ですが、11月のこの時期はあちらこちらの真宗寺院で報恩講が営まれるので、住職は自坊での勤労と、ご縁あるお寺さんの報恩講へ出仕する勤労が多い時期です。住職がないとご法事がないので、留守を預かる私や母はお寺で静かな日曜日を過ごすことが一番多いのも11月です。

今年は、11月2～4日の3日間、母に留守をお願いして、私は学生時代の親友たちと九州へ旅行してきました。約10年ぶりの女子4人旅行でしたが、出会ってもう26年。四半世紀以上の付き合いになります。学生時代の4年間家族のように一緒に時間を過ごしてきました。

卒業して22年の間にはそれぞれ生活事情が大きく変わりましたが、全国各地で遠く離れて暮らしていても、楽しいことも悲しいこともずっと共有してきました。そして久しぶりに会っても、学生当時のままにすぐ戻って、相変わらずの立ち回りと無駄話で一日中過ごせることができます。今回は1日目と3日目の移動日はお天気が良かったのですが、観光する2日目は一日中降りやまない雨でした。ほとんどの時間をレンタカーの中で過ごしたのですが、それでも飽きもせずよくしゃべり、よく笑いました。たまにしか、顔を合わせることができませんが、いつでもそばに居てくれるような安心を与えてくれる彼女たちの存在は「ありがたいなあ」のひとつに尽きます。

これから高校、大学と人生の岐路に立っていく我が家の子供達にも、将来「人生最良の友」と呼べる出会いがあるといいなあと思う今日この頃です。

<境内の近景>



駐車場側の木々たち 今年は猛暑の影響で紅みに鮮やかさがありません。枯葉そうじは毎年大変ですが(^^;)、葉が落ちるまでは秋の風景を楽しませてくれます。



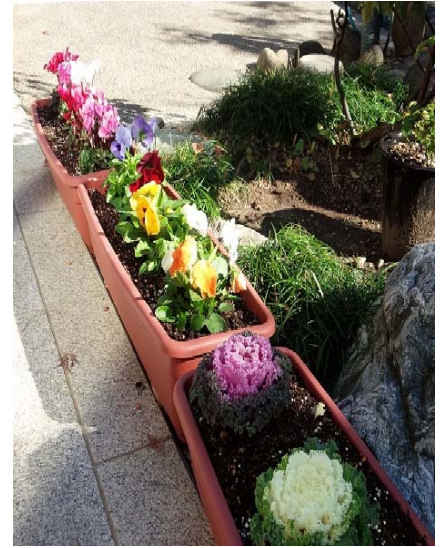
8月頃から少しずつ落ちた柿の実も残りわずかとなりました。



黄金色のいちょう
空気が澄んだ朝は、太陽を背にして眩しく輝いています



今年もゆずは大豊作。毎年これの出荷待ちを楽しみにしている人も（〜）



先週、母が玄関先に植えた花々チューリップの球根もたくさん植えたようで、春が楽しみ♪